

2018年2月4日(日) 横浜歩け歩け運動連合会

〇青空と緑の自然ふれあいウォーク 29-⑯ 中區 14キロ

・横浜港シンボルタワーと本牧十二天

澄み切った、冬空の下、横浜港外の眺望を楽しむ。

- ・集 合 午前9時 横浜公園 (JR・市営地下鉄関内駅5分)
- ～本コース 横浜公園～小港橋～本牧十二天～横浜港シンボルタワー～
牧山頂公園～山手駅
- ・解 散 午後1時45分頃 山手駅 (JR根岸線)



横浜公園にて準備体操



オレンジブラフ



本牧十二天の歴史

本牧十二天緑地がある本牧の地は、鎌倉時代は平子の郷、小田原北条氏の時代には、本牧郷の一部でした。やがて江戸期に入ると本牧本郷村と呼ばれ、当時は外国貿易のお金の代わりになるほど大切にされた、いりこの生産と内湾を航行する廻船の湊としてにぎわっていた人口二千ほどの漁村でした。



本牧海釣り公園



昨年は2月5日にこの例会は実施されたが、それから早一年何事もなく元気歩いている。昨年は病み上がりの3ヵ月ぶりでフラフラ歩いていたが、もう大丈夫だ。二十四節気の立春は2月の横歩連の恒例行事、参加しない分けにはいかない。厚木もいずみも例会があるのに97名も集まる。コースは横浜公園から初冬の海岸通りのイチヨウ並木を眺めて、山下橋から小港橋経由で、本牧十二天とマンダリン・ブラフ(みかん色の崖)へ昨年とはコースはチョット違うがシンボルタワーに向かうのは一緒。風もなくいい日和。58mのタワーに今年は登る。多数の船が横浜航路に出入りしている。午後から本牧山頂公園を抜け山手駅に向かう。山手駅～新杉田駅～杉田駅経由で帰宅。参加者97名、距離14キロ、歩数25,369歩。昨年は午後から雨に降られたが今年は晴天に恵まれ距離は長い、いい日だった。

